

センター行事メモ

●表彰関係

―所外―

- 賞の種類 ・日本原子力学会賞 奨励賞
 受賞件名 ・「熱中性子核分裂における核分裂片と中性子の同時測定」
 受賞日 ・平成12年3月28日
 受賞者 ・西尾 勝久 (変形核重元素合成研究グループ)

―所内―

- 賞の種類 ・有功賞
 受賞件名 ・「アクチノイド新同位体の発見と中性子欠損核壊変物性の研究」
 受賞日 ・平成12年6月30日
 受賞者 ・永目 論一郎 (超アクチノイド元素核化学研究グループ) 他7名

●外国人研究者招聘

年月日	招聘者	招聘目的
12. 1. 17～4. 14	ポーランド アダムミキエヴィッツ大学 Prof. Stefan Lis	機能性反応場におけるf元素の配位状態に関する分光学的研究及び討論
12. 1. 24～1. 25	ハンガリー 原子核研究所 Dr. Attila Krasznahorkay	アクチノイドの核分裂に関する研究成果の講演及び討論
12. 1. 31～2. 1	ドイツ ケルン大学 Prof. Adrian Gelberg	クーロン励起実験で得られる4重極励起状態の不変量に関する講演及び討論
12. 1. 31～3. 30	アメリカ ブルックヘブン国立研究所 Dr. Thomas Koetzle	金属水素化合物中の異常水素結合に関する研究
12. 2. 3～2. 4	ロシア ドゥブナ合同原子核研究所 Dr. Mikhail Itkis	アクチノイドの核分裂に関する研究成果の講演及び討論
12. 2. 8～2. 10	ロシア ロシア科学アカデミータンパク質研究所 Dr. Alexander Alexandrov Timcheko	機能性生体物質の水和構造に関する講演及び討論
12. 2. 15. ～5. 14	ハンガリー 物理中央研究所 Dr. Gyorgy Wolf	極限条件におけるハドロン科学の研究

●外国人研究者招聘

年 月 日	招 聘 者	招 聘 目 的
12. 2. 24～2. 25	アメリカ ノートルダム大学 Prof. Umesh Garg	高スピン状態の研究に関する講演及び核構造研究の成果についての討論
12. 3. 9～3. 10	アメリカ オークリッジ国立研究所 Dr. Cyrus Baktash	核構造研究と RI ビーム加速計画についての講演及び討論
12. 3. 9～3. 15	スイス ベルン大学 Prof. Heinz Walter Gaeggeler	超アクチノイド元素の核化学研究に関する講演及び討論
12. 3. 13～3. 17	アメリカ 南カリフォルニア大学 Prof. Bau Robert	ルブレドキシントンパク質の結晶構造データ解析及び討論
12. 3. 26～3. 30	アメリカ 南カリフォルニア大学 Prof. Bau Robert	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 26～3. 30	フランス ヨーロッパ分子生物研究所 Dr. Dean A. A. Myles	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 26～3. 30	アメリカ 国立衛生研究所 Prof. Dennis A. Torchia	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 26～3. 30	アメリカ ロスアラモス国立研究所 Prof. Benno P. Schoenborn	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 26～3. 30	アメリカ カリフォルニア大学 Prof. Mary Kopke	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 26～3. 30	アメリカ カリフォルニア大学 Prof. Richard E. Dickerson	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 26～3. 30	アメリカ オハイオ州立大学 Prof. Muttaiya Sundaralingam	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 26～3. 30	フランス ラウエランジュバン研究所 Dr. Peter Timmins	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演

●外国人研究者招聘

年 月 日	招 聘 者	招 聘 目 的
12. 3. 26～3. 31	フランス ハイパスツール大学 Prof. Eric Westhof	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 27～3. 29	アメリカ スクリプス研究所 Prof. Peter E. Wright	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 27～3. 29	インド マドラス大学 Prof. Narayanarao Yathindra	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 27～3. 31	イギリス マンチェスター大学 Prof. John R. Helliwell	開放的融合研究国際シンポジウムでの講演
12. 3. 29～4. 5	ベルギー リーゲ大学 Dr. Jean Fuger	アクチノイドの化学研究に関する講演及び討論
12. 7. 11～7. 12	アメリカ National Institute of Standards and Technology Dr. Seung-Hun Lee	NISTにおける中性子散乱研究についての講演及び討論
12. 9. 3～10. 2	アメリカ ブルックヘーブン国立研究所 Dr. Arokiasamy J. Francis	アクチノイドと微生物の相互作用、機能性に関するレーザー分光、電気化学的手法による評価研究及び討論
12. 9. 18～12. 16	アメリカ カーネギーメロン大学 Prof. Paul J. Karol	超アクチノイド元素の核化学的研究

●基礎科学セミナー（第177回～）

年 月 日	開 催 テ ー マ
12. 1. 24	Superdeformation, hyperdeformation and clustering in the actinide region
12. 1. 17	WAND を利用する中性子散乱研究
12. 1. 24～ 1. 26	第2回 極限条件におけるハドロン科学研究会
12. 2. 1	重い電子系の強磁場物性 Single Crystal Growth of Binary Uranium Pnictides
12. 2. 1	A=130 領域の遷移領域核における低スピン4重極励起
12. 2. 9～ 2. 10	中性子構造生物学ワークショップ「溶液散乱によって開かれる蛋白質構造研究の新しい地平」
12. 3. 2	天体における重元素合成過程—ベータ崩壊の大局的理論および質量公式とそれらの応用—
12. 2. 4	Fission of Heavy and Superheavy Nuclei at Low Excitation Energies
12. 2. 23	Hybrid Magnets for generation of very Strong Static Magnetic Fields R&D on Superconducting Materials and High Field Generation in NRIM
12. 2. 25	Lifetime Measurements: From Small Arrays to Gammasphere
12. 3. 14	Gas Phase Chemistry of the Transactinide Elements and Status of the Spallation Neutron Source Project SINQ
12. 3. 16	Applications of Spectroscopic Methods in Studies of Polyoxometalates and Their Complexes with Lanthanide(III) Ions
12. 4. 3	アクチノイドの熱力学に関する最新の進歩と将来の課題
12. 4. 7	Towards Lanthanide-containing Liquid Crystals
12. 6. 13	Neutron scattering studies of the CMR manganites at Oak Ridge National Laboratory
12. 6. 6	Rf イオンガイド法とイオントラップ